



美しい 県土づくりNEWS

2017年
2月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第151号
平成29年2月28日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

目次

- 2 「いわてポートセミナー2017」を開催
- 3 『いわて建設業みらいフォーラム』開催しました
- 4 「建設業新分野・新事業発表フォーラム」を開催！
- 5 平成28年度優良建設関連業務表彰式を開催しました！
- 7 平成28年度汚水処理連携セミナーを開催！
- 8 県土整備部の職場紹介～空港課～
- 9 県土整備部の職場紹介
～県南広域振興局土木部花巻土木センター～

建設業の仕事を身近に！「除雪機ふれあい体験」

盛岡広域振興局土木部

2月4日(土)、雫石町小岩井農場の「いわて雪まつり2017」の会場内で、「除雪機ふれあい体験」を開催しました。

冬季の円滑な交通確保に必要な除雪作業についてご理解いただくとともに、建設業の役割や魅力を情報発信する場として、一般社団法人岩手県建設業協会盛岡支部青年部との共同により昨年から開催している。除雪グレーダ2台、ロータリー除雪車1台、小型除雪車1台の展示・試乗会や、お楽しみ抽選会を行い、延べ400名以上(うち県外から約40名)にご参加いただきました。



会場では、参加者から様々な声が聞かれました



除雪機試乗体験。メットとチョッキを忘れずに！



寒い中大変お疲れ様でした

「いわてポートセミナー2017」を開催

港湾課



平成 29 年 1 月 30 日 (月)、東京都内で「いわてポートセミナー2017」を開催しました。

本セミナーは、首都圏の荷主企業や船社等に向けて、本県港湾の利活用や臨海部工業用地への企業立地を強くPRするために実施しているもので、今回で 15 回目の開催となります。

冒頭、達増知事が「世界を結び 未来を拓く いわての港」と題し、東日本大震災津波からの復旧復興状況や本県港湾の利活用促進に向けた取組などを紹介した後、遠藤久慈市長、山本宮古市長、野田釜石市長及び戸田大船渡市長が、各市所在港湾の概要やセールスポイントなどをPRしました。

本県初のフェリー就航やガントリークレーン（大型荷役機械）の整備、クルーズ船誘致活動や臨海部工業用地の新規分譲など、現在取り組んでいるトピックスを紹介し、港湾の活性化を通じてふるさと振興を図っていくことを強力にアピールしたところです。

当日は、約 200 名の参加をいただき、本県港湾の利活用促進に向けた取組に熱心に耳を傾ける姿が見られました。また、セミナー終了後の情報交換会では、参加企業と本県港湾関係者による積極的な情報交換が行われ、本県港湾の一層の活性化を期待させるセミナーとなりました。

共催：岩手県港湾協会、久慈湾総合開発促進協議会、宮古港利用促進協議会、釜石港湾振興協議会、大船渡港振興協会



達増知事プレゼンテーション



遠藤久慈市長プレゼンテーション



山本宮古市長プレゼンテーション



野田釜石市長プレゼンテーション



戸田大船渡市長プレゼンテーション



情報交換会の様子

いわて建設業みらいフォーラム

を開催しました

建設技術振興課

平成29年1月24日、「いわて建設業みらいフォーラム」を岩手県民会館中ホールで開催しました。

「いわて建設業みらいフォーラム」は、社会基盤の復興や日常の維持修繕で、建設業が果たす役割を県民、特に若者に向けて発信し、建設業への理解や関心を高めることを目的として開催しているイベントで、今年で4回目となります。

当日は400名を超える方の参加のもと、県内の高校生や建設技術者の取組事例発表や、パネルディスカッション、後半は、県内出身のシンガーソングライター松本哲也さんのミニコンサートが開催されました。

また、今年は県内の建設企業などによる取組紹介や、建設機械シミュレーターの体験操縦なども行われ、会場は多くの方でにぎわいました。

及川県土整備部長あいさつ



木下建設業協会会長あいさつ



パネルディスカッション



ロビーでの取組事例紹介コーナー



いわて建設業みらいフォーラムの内容
平成29年1月24日(火) 13:00~15:30

①建設に関する取組事例発表

生徒のみなさん

盛岡工業高校土木科

花巻農業高校環境科学科

建設関係の技術者

宮城建設(株) 小笠原千尋さん

キャタピラージャパン(株) 石津由貴さん

②パネルディスカッション

コーディネーター

岩手大学理工学部 出戸秀明教授

パネリスト

生徒(盛岡工業高校、花巻農業高校)

建設技術者(小笠原さん、石津さん、

昭栄建設(株) 工藤彩さん)

岩手県県土整備部長

③ミニコンサート

シンガーソングライター 松本哲也さん

(司会)テレビ岩手アナウンサー 松山理穂さん

(ロビー展示) 11:30~

県内企業の取組紹介ブース

建設機械シミュレーター体験操縦

バーチャルリアリティによる建設機械体験

「建設業新分野・新事業発表フォーラム」を開催！

建設技術振興課

平成29年2月1日、「平成28年度建設業新分野・新事業発表フォーラム」を盛岡市のエスポワールいわてで開催しました。

本フォーラムは、県内建設企業の経営体質の強化への取組意欲を喚起し、構造改革の推進を図ることを目的に、平成15年度から開催してきました。

フォーラムでは、建設業新分野進出等表彰式を行い、最優秀賞3社及び優秀賞1社を表彰し、引き続き、「解体工事からはじまった空き家マッチング事業」と題して福井県の株式会社北山建設 代表取締役 北山大志郎氏による基調講演と、今年度受賞企業4社による事業のプレゼンテーションを行いました。

また、新分野進出企業による商品・事業のPRブースを設置し、今回受賞した事業のパネル展示を行うとともに、過去の受賞事業のパネル紹介や、経営相談コーナーでの建設企業に対する経営相談会を実施しました。



新分野進出等表彰

【今年度受賞企業】

- ① 工藤建設株式会社（奥州市）
環境リサイクル分野 最優秀賞
自然エネルギー利用製品を活用した
監視カメラシステムの開発・販売事業
- ② 株式会社栄組（遠野市）
建設分野 最優秀賞
インフラ維持補修マネジメントシステム
「SIMMS」の開発及び普及事業
- ③ 株式会社山元（釜石市）
サービス関連分野 最優秀賞
長期滞在型ホテル宿泊事業
- ④ 有限会社神山工業（花巻市）
保健福祉生活分野 優秀賞
介護予防、認知症対応型共同生活介護事業



基調講演（北山大志郎氏）



受賞者プレゼンテーション

平成28年度優良建設関連業務表彰式 を開催しました！！

～優良建設関連業務表彰・優良技術者表彰～

建設技術振興課

平成29年2月8日、岩手県水産会館で平成28年度「優良建設関連業務表彰」と「優良技術者表彰」を行い、及川県土整備部長から表彰状の授与を行いました。

この優良建設関連業務表彰制度は、県土整備部又は広域振興局土木部等が発注した建設関連業務のうち、業務成績が優秀で、他の模範となる業務を履行した受注者及び管理技術者を表彰することにより、建設関連業務の技術の向上による公共工事の品質の確保を図ることを目的として、平成27年度に創設したもので、今回の表彰が第2回目となります。

今回の表彰対象は、平成27年度に完了した建設関連業務のうち、委託業務成績評定要領に基づき成績評定を行った業務（県内に本店又は営業所を有する受注者に限る。）で、県土整備部優良建設関連業務表彰委員会における審議を経て、**優良建設関連業務24件20者、優良技術者25者**が被表彰者として選定されました。

表彰式には、受賞企業の代表者等が多数出席し、受賞者の優れた業績をたたえました。

H28 優良建設関連業務表彰式の様子



表彰状授与



優良建設関連業務表彰受賞者

【平成28年度優良建設関連業務表彰一覧】

	優良建設関連業務表彰 【受注者〔所在地〕】	優良技術者表彰 【管理技術者】	表彰業務名	発注公所
【 測量 】（4件）				
1	東日本測量設計(株) 〔盛岡市〕	高橋 泰生	一般県道大川松草線釜津田地区ほか道路台帳整備(調査・測量)業務委託	岩泉土木センター
2	(株)岩手開発測量設計 〔盛岡市〕	藤村 弥衛	一般国道284号薄衣地区道路台帳整備(調査・測量)業務委託	千厩土木センター
3	(株)エヌティーコンサルタント 〔盛岡市〕	菊池 晴圭	二級河川気仙川ほか流量観測業務委託	津付ダム建設事務所 (住田整備事務所)
4	(有)両磐測量設計 〔一関市〕	佐藤 誠一	一般国道397号津付地区ほか道路台帳整備(調査・測量)業務委託	津付ダム建設事務所 (住田整備事務所)
【 建築関係建設コンサルタント 】（1件）				
1	北斗設計事務所 〔紫波町〕	成田 義則	県営天下田アパート(5号棟)リフレッシュ工事事務委託	花巻土木センター
【 土木関係建設コンサルタント 】（12件）				
1	日本工営(株) 〔東京都〕	松尾 和俊	築川ダム治水・利水計画検討業務委託	築川ダム建設事務所
2	(株)福山コンサルタント 〔福岡県〕	大塚 宣昭	一般国道106号宮古西道路田鎖～根市地区道路環境調査業務委託	宮古土木センター
3	国際航業(株) 〔東京都〕	中前 忠之	一般国道397号新小谷木橋(仮称)事業認定申請図書(相談用資料修正・道路環境影響調査)作成業務委託	県南広域振興局土木部
4	(株)東開技術 〔奥州市〕	及川 清一	県北広域振興局土木部管内道路建設事業発注者支援業務委託	県北広域振興局土木部
5	(株)菊池技研コンサルタント 〔大船渡市〕	佐々木 和則	上中島地区ほか急傾斜地崩壊対策予備設計業務委託	沿岸広域振興局土木部
6	北光コンサル(株) 〔盛岡市〕	柳原 健治	岩手県砂防施設点検評価(その2)業務	砂防災害課
7	(株)建設技術研究所 〔東京都〕	橋本 義春	一級河川北上川ほか浸水想定区域図作成業務	河川課
8	(株)クリアリア 〔東京都〕	成田 孝倫	二級河川小本川筋乙茂地区治水対策検討業務委託	岩泉土木センター
9	三井共同建設コンサルタント(株) 〔東京都〕	黒澤 祥一	二級河川気仙川筋川口～天風地区河道計画検討業務委託	住田整備事務所
10	(株)ニュージェック 〔大阪府〕	松井 潤一	築川ダム管理基本方針策定業務委託	築川ダム建設事務所
11	(株)昭和土木設計 〔矢巾町〕	山村 浩一	一般国道284号大里橋橋梁補修調査設計業務委託	千厩土木センター
12	(株)一測設計 〔一関市〕	藤原 勝広	土砂災害防止法基礎調査業務委託	千厩土木センター
【 地質調査 】（2件）				
1	日本工営(株) 〔東京都〕	畚野 匡	築川ダム転流トンネル岩盤判定業務委託	築川ダム建設事務所
2	(株)菊池技研コンサルタント 〔大船渡市〕	紺野 健一	二級河川大槌川筋源水地区樋門地質調査業務委託	沿岸広域振興局土木部
【 補償関係コンサルタント 】（5件）				
1	(株)南部測量設計 〔奥州市〕	千葉 憲幸 小山 勝紀	県道宮古山田線改築工事業決申請書等作成及び用地測量調査等業務委託	宮古土木センター
2	(株)一測設計 〔一関市〕	千葉 福美	主要地方道岩泉平井賀普代線島越地区事業認定申請図書作成業務委託	岩泉土木センター
3	(有)スカイ測量設計 〔大槌町〕	神林 卓治	一般県道田野畑岩泉線一の渡地区用地測量業務委託	岩泉土木センター
4	(株)鈴木測量設計 〔宮古市〕	佐々木 泰次	一般県道桜峠平田線花露辺地区用地測量調査業務委託	沿岸広域振興局土木部
5	(株)エヌティーコンサルタント 〔盛岡市〕	小笠原 庸夫	一般国道340号押角トンネル民有保安林解除申請書作成業務委託	岩泉土木センター

平成28年度汚水処理連携セミナーを開催！

下水環境課

平成29年2月14日(火)エスポワールいわて(2階大ホール)において、県内各自治体の担当者や関係団体の職員約80名の参加による「平成28年度汚水処理連携セミナー」を開催しました。

本セミナーは、行政と関係機関が連携し、汚水処理事業について効率的かつ適正な整備、運営管理手法や課題解決などの情報共有を図ることを目的として毎年テーマを定め、平成14年度から汚水処理関係機関※が合同で開催しているものです。

岩手県では、東日本大震災の影響により汚泥の有効利用度が落ち込んでいましたが、近年は回復してきています。また、昨年度に改正された下水道法においては、汚泥を燃料や肥料として再生利用するよう努めることとされており、今後は一層の再利用化、エネルギー化が望まれています。

このような背景から、今年度は「汚水処理事業における汚泥処理」をテーマとして、石川県環境部の山根正義氏から、汚泥から発生するメタンガスを有効活用する先進事例を、一関市からは、集落排水事業における事例をそれぞれ発表していただきました。

今後もこのセミナーを通して汚水処理に携わる関係機関の連携を図り、衛生的で快適な生活環境の確保につなげていきます。



主催者代表挨拶
(公財)岩手下水道公社 青柳理事長

○当日の発表から

【事例発表】「メタン活用いしかわモデルについて【石川県の事例】」

石川県環境部環境創造課 生活排水グループ 専門員 山根 正義 氏

石川県で取り組んで行っている「メタン活用いしかわモデル」の仕組みと経緯について、珠洲市と中能登町の事例を挙げ、小規模処理場であっても、汚泥を集約しメタン発酵することで、ガス発電や汚泥の減量化が実施可能となることが紹介されました。

この取組に興味を持った自治体から、多くの質問が寄せられ、今後の汚泥処理を考えていくうえで非常に有意義な事例発表となりました。



【用語解説】

※「汚水処理関係機関」とは？

- 公益財団法人岩手県下水道公社（主催）
- 岩手県土地改良事業団体連合会（共催）
- 公益社団法人岩手県浄化槽協会（共催）
- 岩手県汚水適正処理推進会議（事務局：岩手県県土整備部下水環境課）

県土整備部の職場紹介 No.15 空港課



県土整備部は、「県民から信頼される県土づくり」を目指して、各室課がそれぞれの役割を果たしています。各室課が取り組む課題や業務を毎月ご紹介します。

組織の概要

いわて花巻空港は、県内唯一の空の玄関として、岩手県の活力増大や発展には欠かせない存在です。その機能が最大限に発揮され、県内外の人々に愛着を持っていただけるよう、運賃、ダイヤ等の改善に取り組むとともに、快適な空港施設の整備を図り、それを内外に広くPRなど行うことにより、みんなに選ばれる、愛される空港を目指して”明るく、楽しく、前向きに”魅力ある空港づくりに向けて取り組んでいます。

いわて花巻空港の利用促進 (エアポートセールス・利用促進活動の展開)

県内自治体、商工団体等と連携して、就航地先でのPRに努めるとともに、県内外の関係企業や観光関係者などに利用を働きかけ、旅行需要創出を図っています。



8月1日(月)、盛岡さんさ踊り2016において、いわて花巻空港の利用促進のため、PR隊として、日本航空、ジェイエア、フジドリームエアラインズ、日本通運及び岩手県空港ターミナルビルの皆様と空港課と一緒にPRを実施。

いわて花巻空港の適切な管理運営と国際線受入態勢の強化

- ・安全運航を確保するため、花巻空港事務所をはじめとする各関係機関と連携しながら、保安委員会や各種訓練等を通じて、空港管理、保安、防災に係る業務を適時、適切に実施しています。
- ・花巻空港事務所、ビル会社、税関、出入国管理等関係機関、航空会社等と情報共有、連携、調整を図りながら、国際線の受入れに必要な航空機地上支援車両等の整備など、受入態勢の強化に取り組んでいます。



花巻空港での消火救難訓練の様子

いわて花巻空港を活用した地域活性化

地域の人々が空港に集う、空港の賑わい創出を目指しています。そのための取組(空の日イベントほか)を花巻空港事務所及び空港ビル会社や関係機関と連携して実施しています。



スカイフェスタ2016(9月22日開催)

サブイベント航空教室(9月25日開催)

県土整備部の職場紹介 No.16

県南広域振興局土木部 花巻土木センター

地域概要

花巻土木センターが所管する花巻市は、西部に、奥羽山脈の渓谷沿いに湧き出る花巻温泉郷があり、北東部には標高1,917メートル、北上高地の最高峰、早池峰山がそびえます。また宮沢賢治生誕の地として有名です。

管内には、岩手県内唯一の空港、「いわて花巻空港」があり、また、東北新幹線「新花巻駅」や東北自動車道、東北横断自動車道などの高速交通網が整備されています。



組織体制

○平成28年度組織スローガン

「本格復興完遂」と「^{まち}地域づくり」を明るく笑顔で！

○組織の特徴

組織は所長以下5課で構成され、職員数は、正職員33名と、期限付臨時職員等19名を加え、総勢52名の体制です。なお、用地課・道路都市チームは北上土木センター管内の業務についても担当しています。また、建築指導課長は遠野土木センターと北上土木センターの業務も兼務しています。

今年度の主な取組

1. 主要地方道花巻北上線 島(しま)工区

花巻北上線は、花巻市と北上市と結ぶ北上川東岸の幹線道路であり、緊急輸送道路にも指定され、通勤・通学や救急医療施設へのアクセス道路として地域住民の生活を支える重要な役割を果たしています。事業区間は、線形不良や歩道が未整備であったため、平成22年度から事業に着手し、平成28年度は用地補償、道路改良工事等を進め、早期完成を目指しています。



2. 主要地方道花巻大曲線 小倉山の2工区

花巻大曲線は、花巻市から秋田県大仙市に至る県域を超えた広域的な幹線道路であり、県内においては西和賀町と花巻市を最短距離で結び、地域間交流に資する重要路線です。

事業区間は、落石・雪崩等の危険箇所、幅員狭小及び線形不良であったため、平成14年度から小倉山の2地区（延長2,380m：うち約900m供用済）として事業に着手し、平成28年度は8号橋梁下部工等の整備を進め、早期完成を目指しています。



3. 県立花巻広域公園 長寿命化

花巻広域公園は、本県の大規模公園第1号として昭和57年に一部区域を開園しており、30年以上経過した施設の老朽化対策が必要となっています。

このため、長寿命化計画を策定し、平成27年度から平成36年度までの10年間で公園施設の更新・補修工事を実施する予定です。



モニュメント「ヨダカの塔」の補修

4. 早池峰ダム堰堤改良

早池峰ダムは、一級河川北上川水系稗貫川の洪水調節のほか、かんがい用水、水道用水、工業用水、発電を目的とする多目的ダムです。

ダム完成後16年が経過しており、ダムコン（ダム管理用制御処理設備）をはじめとする諸設備の老朽化、予防保全対策として、平成28年度から長寿命化計画策定・詳細設計を行い、施設設備改良・更新によるダム機能の向上を図っています。



早池峰ダム全景

独自の取組等

1. 住民団体への道路・河川堤防の草刈業務委託

道路・河川の維持管理に当たっては、草刈業務を住民団体へ委託していますが、委託団体数は増加傾向にあります。今後も、地域との協働によるインフラの適切な維持管理に取り組んでいきます。

委託団体数	道路	河川堤防
H25	34	57
H26	37	59
H27	41	59
H28	49	60

2. 「世代をつなぐ防災・住まいの耐震授業」

次世代を担う子どもたちに災害の脅威や防災の重要性を知っていただくため、（一社）岩手県建築士会花巻支部との共催により毎年実施しています。平成28年も、11月上旬に花巻市内の4つの小学校で実施しました。

【主な内容】

- 家を支えている材料の重量を体験する。
- 実物大の木造住宅模型や小型模型を使って、地震による住宅の揺れの違いを学習する。



3. 職員の能力開発に向けた取組

若手職員のプレゼン能力向上と業務遂行上必要な知識の共有等を目的とした「所内研修会（原則、全員参加）」を毎月開催、また、IT推進チームによる「IT技術向上研修会」を随時開催するなど、職員の能力開発に取り組んでいます。



所内研修会



IT研修